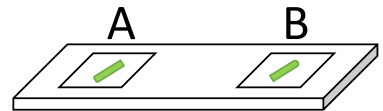


◆ 実験目的

～前回までの確認事項～

◆ 実験方法

1. オオカナダモ A の葉を 1 枚とり、折れ曲がらないようにスライドガラス上に置く。



- ※ 葉が大きい場合は、半分に切る(カバーガラスからはみ出ない大きさにする)。2 枚並べて観察してもよい。
 - ※ あとで観察するオオカナダモ B のために、スライドガラスの左側を使う。
2. スポイトで水を 1 滴加え、カバーガラスをかける。
 3. ペン等の頭でカバーガラスの上から軽く押さえた後、余分な水分はろ紙で吸う。
 - ※ 水分を吸いすぎるとカバーガラス内に空気が入るので注意する。
 4. 顕微鏡で観察 [400 倍] し、スケッチ・特徴の記入を行う。
 - ※ 葉全体の形ではなく、細胞やその内部に注目して観察する。
 5. オオカナダモ B の葉を、さっきと同じ方法で顕微鏡観察を行う [400 倍]。

オオカナダモ (別名: アナカリス)

湖や河川などにも生息している水草。金魚やメダカの飼育水槽用の水草として有名である。ホームセンターやペットショップなどでも販売されている。栽培も簡単である。



◆ 実験結果・考察

オオカナダモA [弱い光] オオカナダモB [強い光]

スケッチ		
	[] 倍	[] 倍
特徴		

考察 [AとBを比べて何がわかるだろうか?]

自分の考え		交流後	
-------	--	-----	--

◆ まとめ

計画 [葉緑体で光合成をしていることを確認する実験方法とは?]

自分の考え	どんな実験（具体的に）？ なぜその実験？予想される結果は？	交流後	
-------	--------------------------------------	-----	--

()組()番()

考察 [① 観察結果からどんなことがわかるだろうか]

[② 光を当てないオオカナダモで同じ実験をしたらどうなる?]

自分の考え		交流後	
-------	--	-----	--

◆ まとめ

◆ 活用

次のような葉にヨウ素液をかけたとき、どのような結果になるだろうか。青紫色に変化する部分を塗りつぶし、そう考えた理由も説明してみよう。

ふ入りの葉 (“ふ” は葉の白い部分)	結果
	そう考えた理由